

各位

2019年6月10日
2019年7月31日(訂正)
KNT-CTホールディングス株式会社
総務広報部(広報)担当:岩本
TEL:03-6863-0048

旅行取扱状況の概観(平成31年4月分)

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト北海道、近畿日本ツーリスト東北、近畿日本ツーリスト関東、近畿日本ツーリスト首都圏、近畿日本ツーリスト中部、近畿日本ツーリスト関西、近畿日本ツーリスト中国四国、近畿日本ツーリスト九州、近畿日本ツーリストコーポレートビジネス、KNT-CT グローバルトラベル、KNT-CT ウェブトラベル、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。(※下線部分が7月31日訂正箇所です)

記

海外旅行の取扱いは、学生団体は前年比67.4%と前年を下回ったが、一般団体は同121.4%と前年を上回り、団体旅行合計で同110.1%と前年を上回った。企画旅行については前年比102.8%と前年を上回り、個人旅行については同136.6%と前年を上回った。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比115.2%と前年を上回った。

国内旅行の取扱いは、学生団体は前年比97.4%と前年を下回り、一般団体は同87.8%と前年を下回り、団体旅行合計で同93.6%と前年を下回った。企画旅行については前年比102.0%と前年を上回り、個人旅行については同101.6%と前年を上回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比99.7%と前年並となった。

外国人旅行は、前年比104.1%と前年を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の4月の総取扱額は前年比104.5%となり、前年を上回った。

【区分別の状況】

1. 海外旅行

海外団体については、学生団体は、修学旅行外においてアメリカやヨーロッパ方面などの研修旅行の取扱人数が減少し、あわせて取扱単価も減少したことにより、前年比67.4%と前年を下回った。一般団体は見本市などへの参加や視察、および企業系コンベンションの取扱人数が増加したことにより、同121.4%と前年を上回った。この結果、海外団体旅行合計で前年比110.1%と前年を上回った。

海外企画旅行については、前年比102.8%と前年を上回った。商品別では、ホリデイは方面別取扱人数の状況で、ミクロネシア方面が前年から減少したが、アジアやオセアニア、ヨーロッパ方面を中心にその他の方面は好調に推移した。クラブツーリズムは、ヨーロッパでは東地中海(トルコ、エジプト)、ロシア、バルト三国、北欧が好調に推移している。クルーズでもヨーロッパ方面が堅調であった。一方で東南アジア(マレーシア、タイ、カンボジア)、ハワイ、カナダ方面は不調が続いている。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比115.2%と前年を上回った。

2. 外国人旅行

外国人旅行は、個人旅行の宿泊商品やレールパスが好調に推移し、前年比104.1%と前年を上回った。

3. 国内旅行

国内団体については、学生団体は、校外学習などの修学旅行外の取扱人数が増加したが、修学旅行の取扱人数の減少により、前年比97.4%と前年を下回った。一般団体は、招待旅行などの取扱人数が増加した一方で、各種大会や会議および親睦旅行などの取扱人数の減少により、同87.8%と前年を下回った。この結果、国内団体旅行で前年比93.6%と前年を下回った。

国内企画旅行については、前年比102.0%と前年を上回った。商品別では、メイトは方面別取扱人数の状況において、首都圏や関西など前年を下回る方面があったが、その他の方面においては概ね好調に推移した。クラブツーリズムは、極端な桜の早期開花もなく比較的安定した販売環境であった。方面別では、北東北、南東北、関東・佐渡、山陰・山陽、九州、沖縄が好調な推移であった。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比99.7%と前年並となった。

以上